

2012 MCFAJクラブマンロードレース・基本車両規則

■基本仕様

参加車両は市販レーサーカー一般生産型モーターサイクルで次の条件に従って安全に整備され、しかも走行上安全なものでなければならない。

◎**クラス分け**:車両は排気量によって次のように分けられる。

■GPクラス (純レーサー)

GP-E125	2st. 101~125cc/4st. 200~250cc	E	赤地×白文字
GP-N125	(GP-MONO&NSF250R)	N	黒地×白文字

■CLUBMAN NEO PRODUCTION(クラブマン・ネオプロダクション)白地×黒文字

NEO-250:2012年までに市販された単気筒~2気筒・4スト250cc
(車両例) H-CBR250R・VTR250・IBVTR250(キャブ仕様)・
スパーダ250/Y-SRX250/S-GSX250E/
K-GPZ250R(NINJA)・D-TRACKER・GP-Z250など

NEO-III-A:2スト、4スト問わず一般市販車195~250cc
※改造範囲は2011 NEO-III規定と同様
(車両例) H-NSR250/Y-FZ250・TZR250/S-RGV250 y など

NEO-III-B:2スト、4スト一般市販車251~400(単気筒は660) cc
※改造範囲は2011 NEO-III規定と同様
(車両例) H-CB400SF/Y-SRX400-600/S-GSX400・DRZ400SM/
K-GPZ400・ZZ-R400・RZ350Rなど

■プロダクション600 (市販車ベース)

Eプロダクション600	4st. 401~600cc	E	青地×白文字
Nプロダクション600	(2&3気筒は~750cc)	N	黄地×黒文字

◎排気管及び消音器

1)必ずサイレンサーを装備すること。その長さは後輪タイヤ
後端を通る垂直線より突出してはならない。またこの垂直
線よりいかなるものも出てはならない。

2)現在の音量規制は105db/Aとする。※右表参照

◎フェンダー

- 1)フェンダーを取り付ける場合はタイヤ幅よりも左右それぞれ10mm
以上張り出しているものとする。
- 2)フロントフェンダーはタイヤの周囲を少なくとも100度以上カバーし
ていること。フロントフェンダーの前端とホイールの中心との角度は
45度以上60以内とする。
- 3)リアフェンダーはタイヤの周辺を少なくとも120度以上カバーして
いること。フェンダーの後端とホイールの中心との角度は20度以内とする。

◎過給器

一切の過給は認めない。

◎キャブレターおよびエアークリーナー

- 1)その個数、改造、調整、取り外しは自由である。
- 2)プロダクションクラスについては別項参照

◎コントロール レバー

クラッチレバー及びブレーキレバーの末端は直径19mm以上の球状で容易に取れるものであってはならない。
また、レバーの長さはピボット部より200mm以内とする。

◎ハンドル

- 1)ハンドル幅は450mm以上とする。
- 2)ハンドルの回転角度は15度以上とする。
- 3)グリップ及びレバーとカウルとの間隔は20mm以上とする。
- 4)ハンドルを左右一杯に切ったとき指を挟まないようにハンドルとタンクの間に30mm以上の間隔を確保しなければならない。

◎バンク角

50度に傾斜した場合タイヤ以外のいかなる部品も接地してはならない。

◎カウリング

- 1)タイヤを除くフロントホイールは両側からはっきりと見えること。
- 2)前輪のアクスルシャフトを通る垂線の100mm前方から後輪アクスルシャフトの垂線の間にあること。
- 3)カウリングの下端と地面との間隔は100mm以上とする。

■アンリミテッド (750ccよりも大きな一般生産型スポーツモデル。改造自由)

Eアンリミテッド	701cc~	E	青地×白文字
Nアンリミテッド	CBR1000RR,YZF-R1,車, GSX-R1000,ZX-9R,GPZ900R等	N	黄地×黒文字

■クラブマン・スーパー・ツイン・トロフィー (C.S.T.T.)

CSTT	2気筒車に限る	E&N	赤地×白文字
------	---------	-----	--------

■スーパーモンスター-80'S

バイクブーム全盛期の80年代鉄フレームマシンのレース。改造自由。			
クラス<A>	'83年までの空冷4st.601cc以上、鉄フレーム、リヤ2本サス Z650,ZI,Z1000,GS1000など		白地×黒文字
クラス	'84以降の空・水冷4st.701cc以上/2st.381cc以上、鉄フレーム GPZ900R,FZR750,GSF1200など(一部アルミフレーム可)		赤地×白文字

■オーバー40

OV40-GP	40歳以上	'91以降の4気筒/'99以降の2気筒	
	50歳未満	スリックタイヤ使用可	
OV40-セニア	50歳以上	車両の制限無し	
	※50歳未満でもOV40-GPに該当しない車両で出走可 ※単気筒車両はセニアクラスで出走可		

■サイドカー

F1	排気量:4st.~1300cc/2st.~750cc	E&N	赤地×白文字
F2	/コンプリートレーサーは500ccまで		白地×黒文字

※上記以外にも出走可能な車両もあります。詳細問合せください
※全クラス4st.車両はアンダーカウルを装着し、オイル溜りすること

■排気量別音量測定回転数

4スト	1気筒	2気筒	3気筒	4気筒
115~250cc	5500rpm	8500rpm		9500rpm
251~400cc	5000rpm	6500rpm	7000rpm	8000rpm
401~600cc	5000rpm	5500rpm	6500rpm	7000rpm
601~750cc	5000rpm	5500rpm	6000rpm	7000rpm
750cc以上	4500rpm	5000rpm	5000rpm	5500rpm
2スト	1気筒	2気筒	3気筒	4気筒
250cc以下	5500rpm	7000rpm		
500cc以下	5000rpm	5500rpm	7000rpm	7000rpm

- 4)後方に面しているカウリングのいかなる部分も末端は少なくとも半径3.5mm以上の丸みをとること。後方に面しているウインドスク
リーンのエッジ部は危険性のないようカバーしておくこと。
- 5)ライダーシート後方部の高さは150mm以下とする。
- 6)4st車はすべてオイル溜めの為のアンダーカウルを装着すること。オイル溜めは最低5Lの用量を確保すること。

◎フットレスト

- 1)フットレストは前後車輪の中心を通過する線の100mm上方より下側にかつ後輪の中心を通過する垂線より前側にありどのコン
ロールペダルも容易に操作出来る位置にあること。
- 2)フットレストの先端は確実に半径8mm以上に丸められていること。
フットレストは折りたたみ式でも良いが自動的に戻る仕組みになっていなければならない。

◎リム及びタイヤ

16インチ以上とする。

◎ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていること。

◎スプロケットガード

フロントおよびリアのスプロケットにガードを装着のこと。

◎2次カバー(エンジンケース)

カーボンまたはケブラー製は2012年も推奨とする。

◎燃料タンク

- 1)燃料は車体にしっかりと固定された一つのタンクに入っていること。シートタンク及び補助タンクは禁止。
- 2)燃料タンクプリーザーパイプ取り付ける場合はノンリターンバルブを燃料タンクプリーザーパイプに取り付けなければならない。
これは最低容量250cc以上のキャッチタンクに接続されていること。

◎燃料

ガソリンは通常市販されているものとし、いかなる物も添加されてはならない。

◎燃料ポンプ

電動燃料ポンプは転倒の際に自動的に停止する回路閉鎖器を介して配線されていなければならない。

◎オイルキャッチタンク

- 1)4st車はブローバイガスを大気放出しないようクローズドプリーザーシステムを備え、オイルプリーザーパイプはエアークリーナーボッ
クスに接続されボックス中に排出されること。エアークリーナーボックスの下部に排出穴が空いている場合は塞がなければならない。
エアークリーナーボックスがない場合はオイルキャッチタンクからのブローバイガスはキャブレターに吸入されるよう措置をとること。
- 2)すべての車両にはギヤーボックスプリーザーの場合は250cc以上、エンジンプリーザーの場合500cc以上の容量のあるオイルキ
ャッチタンクを装着しなければならない。これは転倒時に容易に破損、脱落せず、高温に耐えられる材質の物で、オイルがこぼれな
いよう確実に取り付けなければならない。また、競技前には必ず空にしておくこと。
- 3)エアークリーナーボックスが吸気及びキャブレターその他の開口部より下部に最低500cc以上オイルを収容できる容量がある場
合はオイルキャッチタンクとして利用できる。

◎冷却系のオーバーフロー

水冷式のラジエターオーバーフローパイプには最低容量250cc以上のキャッチタンクを取り付けること。

◎取り外さなければならないもの

- 1)ライト類(飛散防止処理が完全に施されていれば可)
- 2)バックミラー、スタンド類、荷台、ナンバープレート
- 3)その他車検時に安全上取り外しを指定された部品

◎ゼッケンプレート・書体

- 1)大きさは左右285mm以上、上下235mm以上とする。
- 2)取り付け位置:1枚は車両の前面に前向きに垂直から30度の角度をつけ、その他は必ずシートカウル部の両側に垂直方向に取り
付けること。
- 3)シートカウルが小さい車両はゼッケンナンバー上部1カ所でも可とするが、必ずカウル下部サイドにサポートゼッケンを装着のこと。
- 4)色分け(蛍光色は不可)
- 5)ゼッケンの書体はフーツラボールド体を基本とし
以下の数値を満たしていること。 <書体見本> **1 2 3 4 5 6 7 8 9 0**
文字の高さ=140mm以上 / 文字の幅=80mm以上 / 文字の太さ=25mm以上 / 文字との間隔=15mm

◎ワイヤーロック

以下の関連箇所については確実にワイヤーロックを施すこと。ワイヤーは0.6ミリ以上のステンレス製とする。
(割りピン、カンメワッシャー等でも可)

- ①オールドレンボルト及びフィルターキャップ
- ②リアブレーキトルクロッド取り付けボルトナット
- ③前後アクスルシャフト及びナット、クランプボルト
- ④前後ブレーキキャリパー取り付けボルト
- ⑤オイルフィルター取り付けボルト

カードリッジタイプは脱落しないようバンドで締めたらうえにワイヤーで固定すること。
そのほかの箇所についても締め忘れを防ぐ意味でワイヤーロック、割りピン、ロックワッシャー等の使用を奨励する。
※ワイヤーロックはある程度のゆるみ止めの効果があるかもしれませんが、一番の目的は締め忘れを防ぐ事です。

■GP部門車両規則

◎クラス分け

- ・GP-E125:市販レーサー=2st.101~125cc&GP-MONO=4st.~250cc / ライセンス=E / ゼッケン=赤地×白文字
- ・GP-N125:市販レーサー=2st.101~125cc&GP-MONO=4st.~250cc / ライセンス=N / ゼッケン=黒地に白文字

1) すべての車両は基本仕様の条件を満たしていること。

■プロダクションクラス車両規則

◎参加車両

市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで運輸省の型式認定を受けた車両であること。(ナンバーを取れる車両であること)

◎クラス分け

1) CLUBMAN NEO PRODUCTION(クラブマン・ネオ・プロダクション) / ライセンス=E&N / ゼッケン=白地×黒文字

①NEO-250=4ストローク250cc2気筒および単気筒車両でプロダクション規定内の改造。

(車両:H-CBR250R,VTR250/K-GPZ250R-Ninja/S-市販予定の4スト250cc単気筒~2気筒車)

②NEO-IIIを排気量により下記2クラスへ分けます

NEO-III-A=2スト、4スト問わず、一般市販車195~250cc

NEO-III-B=2スト、4スト問わず、一般市販車251~400(単気筒は660)cc

※レギュレーションは2011NEOクラス規定に準ずる。

2)Eプロダクション600:4st.401~600 cc(2気筒は~750cc) / 資格:E / ゼッケン=青地×白文字

Nプロダクション600:4st.401~600 cc(2気筒は~750cc) / 資格:N / ゼッケン=黄地×黒文字

◎改造範囲

1) すべての車両は基本仕様の条件を満たしていること。

2) 改造の範囲規定

下記に示されている項目以外の改造、変更ができない。

①フレーム(リヤサブフレーム含む)

・市販時のものとする。ただし不要なステー類のカット、追加は可。

②エンジン本体

・市販時のものとする。ただし、以下の改造、変更は可。・調整範囲内の吸排気ポートの研磨、面研、燃焼室のみがき、バリ取り等

・カムシャフト交換可

③燃料タンク

・市販時のものとする。

④エアボックス

・市販時のものとする。・エレメントの取り外しは可。・エアボックスのドレーンは密閉されていること。

⑤キャブレター

・市販時のものとしジェット、ニードル類等の変更は可。

⑥フュエルインジェクション

・市販時のものとする。ただし、コンピューターボックス、ROMの変更は可

⑦フロントサスペンション及びフォーククランプ

・市販時のものとする。ただしスプリング、ダンパーキット等の変更可

⑧リヤフォーク、スウィングアーム

・市販時のものとする。

⑨ホイール

・市販時のものとする。但し下記の車両は除かれる。

※例外車両:フロントホイールが16インチで市販された車両については現在プロダクションタイヤが無いため対象外の車両になります。ただし、変更できるホイールは純正部品とし軽量ホイール等は使用できません。

⑩ブレーキ

・前後ブレーキキャリパーは市販時のものとしホース、パッドの変更可。・前後マスターシリンダーは市販時のものとする。

⑪始動装置:セルスターターは使用可。

3) 下記事項の改造及び変更をすることができる。

①リヤサスペンション

・ユニット本体及びスプリングの交換可

②タイヤ

・一般に市販されているプロダクションタイヤと称するもの(レース用・公道用を問わない)で通常ルートで購入可能なものとし、雨天候時のみレーシングレイン使用可。

③ステアリングダンパー

④シート及びシートカウル

⑤ステップ及びペダル

⑥スプロケット及びチェーンの変更は可。

⑦2サイクル車の分離給油を混合に変更可。

⑧ラジエーター/オイルクーラーの変更可。ただし追加のオイルクーラーは不可

⑨カウリングは同形状のものであれば交換可

⑩ハンドルバー

⑪サイレンサー(マフラー&チャンバー)

◎その他

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同じ車両同士の部品で互換性のあるものの交換は認められる。ただし、追加工等のない場合に限る。

■CSTT=クラブマンズポイントロワイヤ車両規則

◎クラス分け:2気筒車に限る / 資格:E&N / ゼッケン=赤地×白文字

◎改造範囲:すべての車両は基本仕様の条件を満たしていること。

1) 改造自由

2) 排気量制限なし

■アンリミテッド車両規則

◎クラス分け

E-アンリミテッド:701cc~ / 資格:E / ゼッケン=青地×白文字

N-アンリミテッド:701cc~ / 資格:N / ゼッケン=黄地×黒文字

◎改造範囲

750ccよりも大きな一般生産型スポーツモデル。すべての車両は基本仕様の条件を満たしていること。

1) 改造自由

・車両例:CBR1000RR,CBR1000XX,YZF-R1,GSX-R1000,隼,ZX-9R,10R,12R,GPZ900R,ZZ-R1400など

※上記以外にも参加可能な車両があると思われます。その場合は事務局にお問い合わせください。

■スーパーモンスター80's車両規則 ☆詳細は別便にて発送するエントリー用紙を参照してください☆

◎Aクラス・基本仕様

・1983年までに市販された鉄フレーム、リヤ2本サス、空冷4ストローク

総排気量601cc以上のマシンであることを基本とし、下記特例のモデルを

参加可能とする。

・特例車両例:K-GPZ750F/1100F(リヤモノサス) / H-VF750F(水冷・リヤモノサス)

・上記以外で出走希望車両がある場合は事務局(ロードレース委員会)判断と致します。

◎Bクラス・基本仕様

・1984年以降に市販された空・水冷、鉄フレーム、4ストローク、総排気量

701cc以上のマシンを基本ベースとし、下記特例を設けます。

<基本ベース車両例>H-VF1000R、K-GPZ750R/900R、Y-FZ750

・特例車両例

<特例マシン-1>アルミフレーム、総排気量750ccまで

H-VFR750F(~'86)S-GSX-R750(~'87)Y-FZR750(~'87)

<特例マシン-2>2ストロークマシン、総排気量381cc以上

H-NS400R、Y-RZV500R、S-RG500/400y

<特例マシン-3>ネイキッドマシン

S-GSF1200

・上記全てに該当しないマシンで出走希望の方は事務局へご相談ください。

◎改造範囲

すべての車両は基本仕様の条件を満たしているもので下記に示されている項目以外の改造、変更は自由とする。

1) フレームの基本構造の改造変更は禁止。ただし、補強、ステー類のカットは可。

2) 4st.車両はアンダーカウル部のオイル溜を装着すること。

3) タイヤは一般に市販されているプロダクションタイヤと称するもの(レース用・公道用を問わない)で通常ルートで購入可能なものとし、雨天候のみレーシングレイン使用可。

◎その他

参加台数が少ない場合は他のA&Bクラス同賞典となる。またCSTT、オーバー40、CSSCなどに編成され混走レースとなる。

■オーバー40-GP / セニアクラス車両規則

◎クラス分け

・オーバー40-GP:年齢40歳以上~50歳未満 / '91年以降の4気筒車・'99年以降の2気筒車・スリックタイヤ使用可

※単気筒車両はセニアに出走可

・オーバー40-セニア:年齢50歳以上 / 車両の制限無し / ※50歳未満でもOV40-GPに該当しない車両で出走可

◎改造範囲

すべての車両は基本仕様の条件を満たしていること。

ゼッケンの色は基本的に白・黒文字とするが、他のクラスとのダブルエントリーの方はそのゼッケンカラーで可。

★その他のセミレギュラーおよびエキジビションクラスは、各々のエントリー用紙に記載します。

(サイドカー、COTT、2&4、NP150、NEO、SM80'S、CSSCオープン、AVCCなど)